

報道関係者各位

2019年4月8日
シュナイダーエレクトリック

シュナイダーエレクトリック、日本市場においてマイクログリッド向け事業に参入

- 中圧受配電機器の製造・提供を行うパワーシステム事業の日本におけるビジネス領域を拡張
- IoTプラットフォーム「EcoStruxure」のフレームワークを利用し、全世界 130 件の導入実績があるマイクログリッド向けソリューション「EcoStruxure Microgrid」を提供

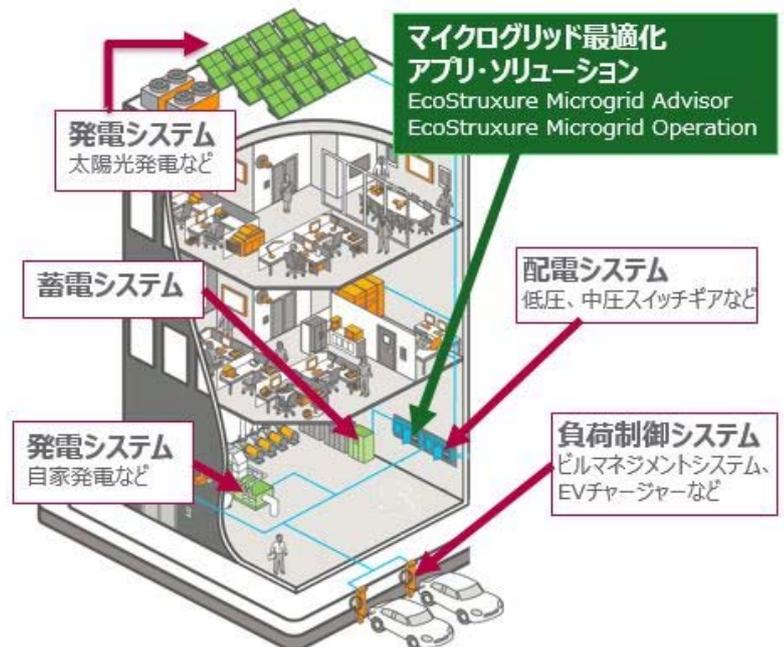
エネルギー・マネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、これまで主に中圧受配電機器の製造・提供を行ってきたパワーシステム事業(*1)の日本でのビジネス領域を拡張し、昨今の再生エネルギー活用により関心が高まっている「マイクログリッド向け事業」に参入します。マイクログリッド向けのソリューション「EcoStruxure™ Microgrid」(エコストラクチャー マイクログリッド)は、4月中旬より提供開始予定です。

【マイクログリッドとは】

マイクログリッドは、太陽光発電や風力発電、燃料電池などいくつかの分散電源と電力貯蔵システムをもち、電力システムに連携することも、切り離して自立運転もできる小規模系統網です。停電などの緊急時には、広範囲の電力網から切り離して一定地域・施設内で電力供給を維持することができます。再生可能エネルギー増加による分散化対応、台風など昨今増え続ける自然災害に対するレジリエンス強化、また、脱炭素化を目指す RE100(*2) 企業の台頭を背景に、欧米では普及していましたが、日本においても必要性が高まっています。

【提供する EcoStruxure Microgrid について】

「EcoStruxure Microgrid」は、電力の発電、消費、貯蔵、販売を最適化し、停電時に系統から切り離れた後も電力供給の安定化を図る制御・監視ソリューションです。世界ではすでに 130 件の導入実績があります。



マイクログリッド向け製品・ソリューションの全体像

報道関係者からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）

住所：東京都港区芝浦二丁目 15-6 オアーズ芝浦 MJビル

TEL：080-3022-3067

Email：Mayumi.Kanamitsu@se.com

シュナイダーエレクトリックのIoTプラットフォーム・アーキテクチャー「EcoStruxure」(*3)の電力グリッド向けフレームワークを利用します。

「EcoStruxure Microgrid」ソリューションは下記の通りです。

- 「EcoStruxure Microgrid Advisor」：電力をいつ作り、消費し、貯蔵し、販売するかを予測、最適化するアプリケーション。「エッジコントロール」層において振り分けられたデータの解析・分析を行う「アプリ・アナリティクスおよびサービス」層に位置します。
- 「EcoStruxure Microgrid Operations」：停電時に系統から切り離れた後も電力供給の安定化を図る監視・制御ソリューション。「コネクテッド・デバイス」層から収集したデータの監視・処理を行う「エッジコントロール」層に導入します。
- 「コネクテッド・デバイス」層では、自社・他社製品問わずに必要なハードウェアをネットワークに接続することによって、すべてのハードウェアからのデータを収集し、監視・管理が可能になります。



「EcoStruxure Microgrid」は、他社製品との互換性も高く、追加の負荷、発電も簡単に管理可能な拡張性を持つのが特徴です。再生可能エネルギーを活用し環境にやさしい企業を目指すオフィスや工場・物流施設、自然災害時にも停電から守るレジリエンス強化を行いたい自治体や重要な施設、離島ならびに、電気料金の最適化や燃料費を削減したという企業が対象となります。需給の制御方法としては、「系統連系(Grid-tied)」、「系統連系・解列(Island able)」、「自立運転(Off-Grid)」に対応します。

シュナイダーエレクトリックは今後、全世界約 130 件の導入実績、他社製品との互換性、および、既存・新規パートナーとの連携により、マイクログリッド向け事業の営業活動を開始し、2020 年度までに日本でのパワーシステム事業を倍増にします。

1) シュナイダーエレクトリックのパワーシステム事業について

海外においては 100 年余の歴史を持ち、電力会社、石油化学産業などを中心に受配電機器やソフトウェア、サービスを提供、全世界に 250 余のサービス拠点、60 以上のエンジニアリング拠点、90 以上の製造拠点を持っています。約 50 年前の日本市場参入当初から国内でも活動を開始している同事業は、これまで主に日本企業の海外プラント案件向けの受電設備およびソフトウェアの提供、および、合併企業による国内向け案件への受電設備用機器の販売を行ってきました。

報道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック
 広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）
 住所：東京都港区芝浦二丁目 15-6 オアーズ芝浦 MJビル
 TEL：080-3022-3067
 Email：Mayumi.Kanamitsu@se.com

2) RE100 について

「Renewable Energy 100%」の略称。事業で使用するエネルギーを 100%再生可能エネルギーにすることを宣言した企業の連合体で、2014 年にイギリスに本部を置く国際環境 NGO の The Climate Group が中心となって開始したイニシアチブ。日本企業でも、2017 年 4 月のリコー以降、積水ハウス、アスクル、大和ハウス工業、ワタミ、イオングループなどメーカーが先行しており、2019 年 2 月 16 日時点で世界 164 社が参加

3) EcoStruxure および EcoStruxure Grid について



「EcoStruxure」(エコストラクチャー)は、オープンで相互運用性を備えた、IoT プラットフォームおよびアーキテクチャーです。IoT、モビリティ、センシング、クラウド、アナリティクス、サイバーセキュリティ技術の先進技術を活用し、第 1 階層「コネクテッド・デバイス」、第 2 階層「エッジコントロール」、第 3 階層「アプリケーション・アナリティクス・サービス」で、「Innovation at Every Level(あらゆる階層でのイノベーション)」を実現します。「EcoStruxure」は、48 万カ所以上の事業拠点に導入され、2 万以上のシステムインテグレーターとデベロッパーのサポートを受け、40 以上のデジタルサービスを通じて 160 万以上の管理対象資産を接続しています。

「EcoStruxure」は、「EcoStruxure Building」、「EcoStruxure Power」、「EcoStruxure IT」、「EcoStruxure Machine」、「EcoStruxure Plant」「EcoStruxure Grid」の 6 つのフレームワークを用意しており、「EcoStruxure Grid」は、電力グリッド向けフレームワークです。

Schneider Electric について (本社：フランス、リュエイユ・マルメゾン市、代表：会長兼CEO ジャン＝パカル・トリコワ)

シュナイダーエレクトリックは、ビル、データセンター、電力インフラ、工場に向けたエネルギー・マネジメントとオートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進しています。世界100か国以上で事業を展開し、低・高電圧およびセキュアパワーのエネルギー・マネジメントとオートメーションシステムの分野で名実ともに業界のリーダーです。エネルギー、オートメーション、ソフトウェアを組み合わせ、統合された効率化システムを提供します。

当社のグローバルなエコシステムの中で、当社のオープンプラットフォームを活用しさまざまな企業や開発者コミュニティと連携することで、リアルタイム管理や高効率な運用を実現します。私たちは当社をとりまく素晴らしい人々やパートナーに支えられ、そして技術革新・多様化・持続可能性へのコミットメントを通して、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。 www.se.com/jp 2018年11月20日にWEBドメインを変更しました。

Discover Life Is On

Discover EcoStruxure

Follow us on:

報道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）

住所：東京都港区芝浦二丁目 15-6 オアーズ芝浦 MJビル

TEL：080-3022-3067

Email：Mayumi.Kanamitsu@se.com